

豊洲市場における空気調査及び地下水質調査結果（概要）

1 調査の概要

(1) 空気調査【資料 1】

- ・建物 1 階（6 箇所）と屋外（5 箇所）の 11 箇所で、ベンゼン、シアン、水銀を測定
- ・いずれの測定結果についても、大気環境基準値等に適合

(2) 地下水質調査【資料 2】

- ・これまでの調査で濃度が高い箇所等から選定した 46 箇所で地下水質調査を実施。

	選定理由	頻度(月)	平成29年										平成30年				
			5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
46箇所	濃度確認 29箇所	これまでの調査で濃度が高い箇所を中心に選定	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全体確認 17箇所	街区等のバランスを考慮し選定	3か月ごと			○				○			○			○	

- ・濃度確認モニタリング（29 箇所）の最高濃度の推移（mg/L）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ベンゼン	1.0	1.0	1.1	1.0	1.2	1.6	1.4	1.1
シアン	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.5	1.3	1.3
ヒ素	0.034	0.033	0.030	0.031 ^{※2}	0.023	0.028	0.030	0.032

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	第9回 ^{※1}
ベンゼン	1.3	1.2	1.1	1.4	1.4	1.4	0.79
シアン	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2
ヒ素	0.033	0.030	0.034	0.035	0.033	0.036	0.038

※1 平成 28 年 11 月～12 月に採水した、第 9 回地下水モニタリングの結果（201 箇所）

※2 全体確認モニタリング井戸も合わせた 46 箇所の最高濃度：0.040 mg/L（M31-2）

【参考】直近の測定結果における 46 箇所の環境基準値超過箇所数

	9月公表 濃度 29 箇所：8月採水 全体 17 箇所：7月採水	12月公表 濃度 29 箇所：11月採水 全体 17 箇所：10月採水	4月公表 濃度 29 箇所：2月採水 全体 17 箇所：1月採水	今回 濃度 29 箇所：5月採水 全体 17 箇所：4月採水	(参考) 第9回地下水 モニタリング結果
超過箇所数	38 / 46	38 / 46	39 / 46	37 / 46	40 / 46
ベンゼン	25 / 33	24 / 33	24 / 33	23 / 33	24 / 33
シアン	22 / 31	22 / 31	22 / 31	22 / 31	24 / 31
ヒ素	13 / 18	13 / 18	14 / 18	12 / 18	13 / 18

環境基準値：ベンゼン 0.01mg/L、シアン検出されないこと（定量下限値 0.1mg/L）、ヒ素 0.01mg/L

2 専門家会議の評価の概要【資料3】

(1) 空気調査結果

- ・建物1階部分の空気及び屋外の大気について科学的な安全は確保された状態にあると考えられる。

(2) 地下水質調査結果

- ・濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない。
- ・地下水管理システムにより目標管理水位（A.P.+1.8m）まで地下水位の低下を図っている途中であり、揚水井戸からの地下水揚水や地下ピット部の釜場からの地下水排水により地下水の流れが生じていることの影響が続いている可能性が高いと考えられる。